

いしおか 市議会 だより

No.93

令和6年 第3回定例会

(8月27日～9月12日)

Ishioka City Council News -No.93-

定例会は
年4回

3月

6月

9月

12月



扉の先で交わされる議論が、未来への道をひらく(写真/複合文化施設建設特別委員会や議会運営委員会を行う全員協議会室)

INDEX

—特集—

複合文化施設整備の今

～議会における審議経過～ 2

定例会ドキュメント	4
一般質問	8
常任委員会の活動	17

複合文化施設整備の今

～議会における審議経過～

市執行部では、令和2年3月に閉館した石岡市民会館に代わる新たな施設の整備へ向け検討を進めています。また、石岡市議会においても、令和4年6月に議員全員で構成する複合文化施設建設特別委員会（以下「特別委員会」）を設置し、検討内容について集中的に審議をしてきました。

令和6年第3回定例会の内容を中心に、審議経過についてご紹介します。

複合文化施設建設
特別委員会の記録
はこちらから▼



令和4年6月～令和5年4月（石岡市議会改選前）

執行部の整備方針として、執行部より下記の内容が示され、審議を行ってきました。

建設地	駅東地区（鹿島鉄道跡地・市営駅東駐車場）
事業手法	PFI【BTO】方式（民間が施設を建設し、所有権を市に移転した上で、民間が維持管理・運営を行う方式）
概算事業費	122.7億円（別途維持管理・運営費約4億円（毎年））
複合化対象施設	市民ホール、図書館、子どもの遊び場・親子のふれあいスペース、市民活動スペース 他

令和4年第3回定例会において、補正予算案（駅東地区の測量・地質調査委託料）を**否決**。その後、令和4年10月11日の特別委員会で、執行部より基本計画案の取り下げと再検討を行う方針が示されました。

また、令和5年3月15日の特別委員会では、執行部から提出された石岡市複合文化施設整備審議会（以下「審議会」）を設置するための条例案を審議し、令和5年第1回定例会において**可決**。令和5年4月1日より条例が施行され、複合文化施設整備事業について調査・審議を行い、意見を求める市長の附属機関として審議会が設置されました。



令和5年6月～令和6年8月（石岡市議会改選後）

令和5年4月の石岡市議会議員選挙を経て、新たな顔ぶれでの特別委員会の設置となりました。執行部からは再検討実施後の基本構想の説明、審議会からの中間答申の内容を踏まえた整備方針（下表）が改めて示され、さらなる審議を行ってきました。

建設地	駅東地区（鹿島鉄道跡地・市営駅東駐車場）
事業手法	整備：公設（市が建設） 運営・維持管理：民間活力の利用を検討
複合化対象施設	市民ホール、市民活動スペース、図書館の一部機能 他

さらに、いしおかイベント広場には、図書館、ふるさと歴史館、屋外・屋内の遊具施設などの公共施設と、民間の商業施設の複合整備を推進するとの説明がありました。以前からの建設地の課題や新たに示されたイベント広場の活用について、様々な質問や意見が出されました。

第10回複合文化施設建設特別委員会（令和6年9月11日）

執行部より、整備方針を踏まえた概算事業費と財源内訳の説明がありました。詳細は下表のとおりです。

		財源内訳	金額（億円）
概算事業費	金額	国庫補助金	15
設計・建設費	約73.4億円	合併特例債	36.1
維持管理・運営費（毎年）	約9,736万円	地方債（公共事業等債）	8.34
		複合文化施設整備基金	10
		一般財源	3.95
		合計	73.39



審議内容については、
次ページへ

第10回複合文化施設建設特別委員会（令和6年9月11日）での議論

概算事業費と財源内訳について、疑問点や懸念事項を各委員が質問しました。また、建設場所について、議論が進まない状況を踏まえ、執行部の方針に対する委員会としての可否を採決しました。

問 建設予定地が決定していない中で、駅東地区建設を前提とした事業費となっているように思う。イベント広場の場合の事業費も出すべきではないか？

答 駅東であってもイベント広場であっても、この建物に関する概算建設費は変わらないものと考えている。

問 財政推計で基金残高がマイナスとなる時期が早まっている。これだけ大きい事業を抱える中で市長の見解は？

答 行財政改革の視点から、事務事業のビルドアンドスクラップの実施、公共施設の適正規模の精査などを進め、今後も健全な財政運営に取り組むことで、財政対応が可能であると判断した。

委員の提案により、複合文化施設を駅東地区に建設することについて、委員会としての可否を採決

【結果】賛成少数→委員会として駅東地区建設に反対する意思が確認される

この結果を受け、委員長から執行部に対し、「あくまで意思確認ではあるが、執行部としてこの結果を受けとめ、今後の運営に検討事項として反映をしてほしい」旨の説明がありました。

第3回定例会閉会日（令和6年9月12日）

定例会が閉会となる最終日、山本進議員ほか11名の議員により「複合文化施設を駅東地区へ建設する計画に反対する決議案」が提出されました。

本決議案は、即時日程に追加され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

複合文化施設を駅東地区へ建設する計画に反対する決議（全文）

現在、複合文化施設建設特別委員会において審議されている複合文化施設建設事業については、次のように納得できない部分が多くあるため、このままこの事業を進めていくことは容認できない。

1. 複合文化施設建設候補地は、未だ決定されておらず、建設場所の選定理由が不明である。
2. 駅東地区での建設に当たっての安全性の担保と災害発生時の対応について明確な説明がなく、人命の安全確保が担保されているとは言えない。
3. 提供される資料の内容は、駅東が有利に感じられるよう恣意的に作成されている。
4. 建設後の具体的な運営方法についての方針も見られない。
5. 執行部の事務の進め方には疑問が多い。議会軽視、委員会軽視と感じている。
6. 駅東地区での建設に対しては、令和6年9月11日の特別委員会で諮られ、賛成少数であった。

以上のようなことから、複合文化施設の建設に当たり容易に見過すことができない状況であり、また、市長が進めようとしている複合文化施設建設では、石岡市の将来像が見えてこないことから、現在の駅東地区へ建設するという計画については、断固反対するものである。

以上、決議する。

決議には法的拘束力はありませんが、議会の意思を対外的に表明するものであり、これを受けて今後執行部がどのような判断をしていくのか注視し、複合文化施設がよりよいものとなるよう審議していきます。

補正予算の主な事業と予算額

第3回定例会	■フラワーパーク駐車場整備事業	用地購入	5,300万円
	■石岡駅周辺整備事業	西口駅前広場整備工事	1,367万3千円
	■市営住宅維持管理経費	建物修繕	700万円
	■学校施設環境改善事業	実施設計委託料	761万2千円
	■教育振興支援事業	施設用備品	173万5千円

定例会

ドキュメント

◆第3回定例会
[8月27日～9月12日]

第3回定例会 市長が31議案を提出

令和6年第3回定例会では、市長から31件の議案が提出されました。

令和6年度一般会計補正予算(第3号)は、1億2873万5000円を追加し、歳入歳出総額を349億3574万8000円とするものです。

歳出の主な内容として、令和6年4月1日付の人事異動等に伴う人件費の調整のほか、商工費では、茨城県フラワーパークの大規模リニューアル後、観光シーズンの混雑時に駐車困難等が発生しており、駐車場を拡充する用地購入の経費として、フラワーパーク駐車場整備事業5300万円の増。土木費では、駅周辺歩行者の安全の確保のため、石岡駅西口交流施設と石岡ステーションパークとの間に横断歩道等を設置する経費として、石岡駅周辺整備事業1367万3000円の増などです。

令和5年度決算

令和5年度の石岡市各会計決算認定議案については、市長から「監査委員の審査をいただいたので、

審査意見書を添えて議会の認定に付す」ことが説明されました。

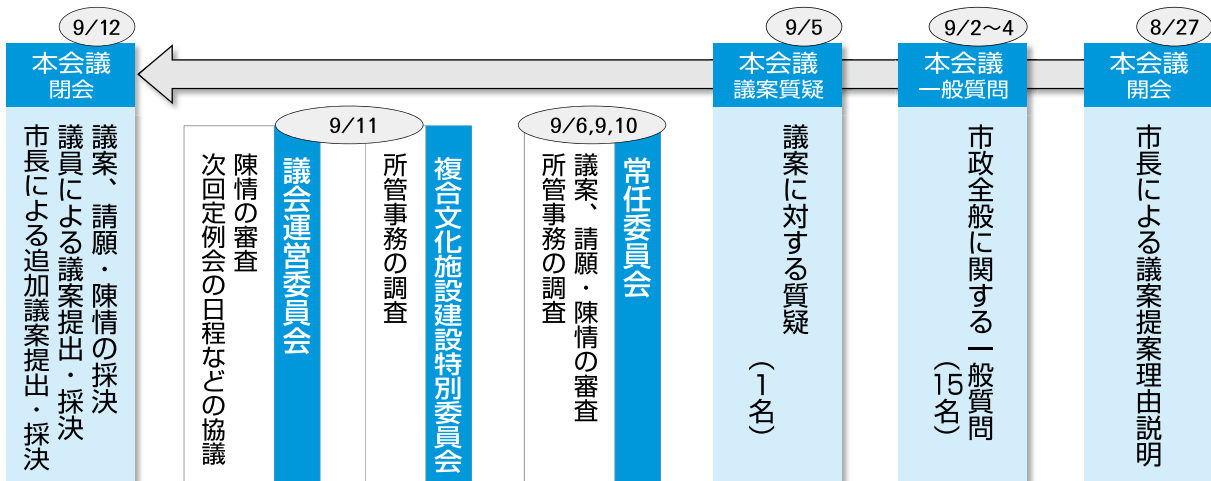
各会計決算認定議案は、集中して審査を行うため、議員全員で構成する決算特別委員会を設置し、10月21日から24日にかけて審査を行うこととしました。決算特別委員会の審査結果は、次期定例会で報告され、議会が認定するかどうかを採決します。

定例会最終日 市長が提出議案、委員会提出議案などを可決

今回市長から提案された議案等は、最終日に追加で提出された令和6年度一般会計補正予算(第4号)等計5件を除き、各委員会に付託して審査を行いました。最終日に採決を行った結果、各会計決算認定議案を除く21件を、原案のとおり可決しました。

また、議会運営委員会から「石岡市議会委員会条例の一部改正」及び「石岡市議会ハラスメント防止条例の制定」に係る議案が提出され、全会一致で可決したほか、山本進議員ほか11名から「複合文化施設を駅東地区へ建設する計画に反対する決議案」が提出され、賛成多数で可決しました。

令和6年第3回定例会の流れ



質疑から読み解く

ギカイの視点



条例

予算

第3回定例会

条例

石岡市議会ハラスメント防止条例の制定

ハラスメントを防止し、市民から信頼される、品格ある議会を目指す

令和6年6月11日の議会運営委員会において、委員より「石岡市議会ハラスメント防止条例」の制定について提案がありました。

その後、同委員会において、条例の内容等について継続して審議を行ってきました。

その結果、令和6年第3回定例会最終日に委員会提出議案として提出され、採決の結果、全会一致で可決しました。

石岡市議会ハラスメント防止条例 可決までの流れ

議会運営委員会（令和6年6月11日）

委員から「議員によるハラスメント事案については、これまで全国で数多く報告がされており、これは本市議会も例外ではない。また、ハラスメントに関する議員研修会に参加し、ハラスメント防止の重要性について再認識をしたところである。そのようなことから、全ての議員が相互に人格を尊重し、地方自治の本旨に基づく役割を十分発揮できるよう、市民から信頼される、品格ある議会を目指すため、本市議会として条例を制定することを提案する」旨、説明があり、令和6年第2回定例会最終日に委員会提出議案として提出する方針が示される。

議会運営委員会（令和6年6月20日）

委員から「石岡市法令遵守の推進に関する条例との整合性がどう担保できるのか疑念がある。これらのことを整理をして、さらに文面等についても、もう少し練ったほうがいいのではないか」等の意見があり、第2回定例会での提出を見送り、継続審査していくことを決定。

議会運営委員会（令和6年8月9日）

前回委員会での意見を踏まえた修正案が提示される。出席委員の所属する各党派で確認し、次回委員会で改めて協議することとする。

議会運営委員会（令和6年9月11日）

前回委員会で示された修正案を、令和6年第3回定例会最終日に、委員会提出議案として提出する方針を決定。

令和6年第3回定例会 最終日（令和6年9月12日）

採決の結果、委員会提出議案「石岡市議会ハラスメント防止条例を制定することについて」が全会一致で可決。

―― 石岡市議会ハラスメント防止条例のポイント ――

- 対象は「議員間」又は「職員と議員との間」に生じたハラスメント
- ハラスメント相談窓口を設置
- 議長は、ハラスメント行為が確認されたとき、当該議員に対する必要な措置を実施（指導、助言、注意、氏名の公表等）
- 議長は、ハラスメントの防止を図る（研修等の実施に努める）

内容詳細はこちら▼



ハラスメント
防止条例議案

第3回定例会

補正
予算

学校施設環境改善事業
実施設計委託料 761万2千円を計上

東小学校及び南小学校の体育館に空調設備を整備する。昨今の気象状況の変化を踏まえ、小中学校の体育館における熱中症事故予防及び児童生徒の快適な学習環境を確保する観点から、体育館への空調整備を進めるもの。

問 2校で整備されるが、それぞれ費用の内訳は？

答 面積、規模、構造等がほぼ同じなので、1校当たり約380万円の2校分。

問 学校体育館の空調機器整備の進め方と、現状は？

答 昨年度、八郷中学校の武道場に大型の冷暖房機能がついた空調機を導入した。統合再編や大規模な改修予定がないこと、比較的施設が新しいことなどがら2校を選定した。その他の小中学校は、次年度以降の検討課題として取り組む。

第3回定例会

条例

石岡市議会委員会条例の一部改正
手続のオンライン化への対応等

地方自治法の改正による議会に係る手続のオンライン化へ対応すること等により、全国市議会議長会で示す標準市議会会議規則が改正されたこと等により、当該条例の一部を改正するもの。

改正内容

委員会においては、利害関係者や専門知識を有する人などから、広く意見を聞く公聴会が開催できる。そこで意見を述べる人は、あらかじめその理由等を委員会に申し出ることになっており、申し出について、メールなどの方法で行うことができる規定を追加するなど、必要な改正を行った。

議会の
しくみ

議会の会議は、地方自治法、議会基本条例や委員会条例、会議規則に従って運営しています。

第3回定例会

請願
陳情

請願・陳情の審査

受理した請願・陳情のうち、請願1件、陳情1件について結論を出しました。

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
(紹介議員：川井幸一)

請願趣旨 中学校における35人学級の実施や、教職員定数改善の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持について、国への意見書提出を求める。

審査委員会 文教厚生委員会

委員会の意見 委員からは、「同内容については、例年、石岡市議会として全会一致で、学校現場の子供たちの教育環境の拡充と教職員の働き方改革における予算の拡充について、賛成を続けてきた案件と認識している。本年についても、その考え方を堅持した中で賛成すべきと考える」との意見が出されました。

審査結果 採択

●石岡市が構成団体となっている一部事務組合の早期の統合を求める陳情

陳情趣旨 現在個別に処理している広域的な共同事業を、一つの事務組合として統合する必要性を強く感じ、「霞台厚生施設組合」、「湖北環境衛生組合」、「石岡地方斎場組合」の3組合を石岡市が主体となって早期の統合を実現するよう求める。

審査委員会 産業建設委員会

委員会の意見 委員からは、「以前、組合をひとつにしたらどうかという話は出たこともあるが、その後そういったことは一切ないし、組合や管理者からもそういう話が出てくるということは聞いていない。現状でも、限られた人数の中で粛々と議論をし、きちっと運営がなされていると思っている。また霞台は、茨城町も入っているので、今すぐに3つを一緒にするということは、大変であると感じる。今は皆さんが各組合に行って、いい環境づくり、いい形の中で進んでるかと思うので、今の状況の中でいいのではないかと思う」などの意見が出されました。

審査結果 不採択

意見書

教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書

意見書 1 件を可決し、関係行政庁に提出しました。

内 容 中学校の 35 人学級の早急な実施及び少人数学級の検討、教職員定数改善の推進、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める。

提 出 先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

議案の審議結果

■全会一致で可決・採択

令和6年第3回定例会

予 算	令和6年度石岡市一般会計補正予算（第3号）
	令和6年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	令和6年度石岡市介護保険特別会計補正予算（第3号）
	令和6年度石岡市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
	令和6年度石岡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	令和6年度石岡市水道事業会計補正予算（第1号）
	令和6年度石岡市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
	令和6年度石岡市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）
	令和6年度石岡市一般会計補正予算（第4号）
	令和6年度石岡市公共下水道事業会計補正予算（第2号）
条例	石岡市地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部改正

令和6年第3回定例会

条 例	石岡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正
	石岡市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例の制定
人 事	固定資産評価審査委員会委員の選任（横田克明氏）
	人権擁護委員の候補者の推薦（渡邊恭子氏）
そ の 他	「工事請負契約の締結について」の一部変更（令和5年度 市民会館解体工事）
	市道の認定（A3397号線（泉町地内））
	市道の認定（A3398号線（石岡二丁目地内））
議 員 提 出	専決処分の承認（損害賠償額の決定）
	石岡市議会委員会条例の一部改正
請 願	石岡市議会ハラスメント防止条例の制定
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願（紹介議員：川井幸一）
意 見 書	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書

■賛否が分かれたもの（賛成多数で可決）

※「○」は賛成、「●」は反対、「-」は退席等
※議長は、採決に加わりません。

案件名	議員名																				
	鈴木将史	富田雅史	中根淳一	鈴木康仁	飯村一夫	新田茜	川井幸一	櫻井茂	岡野孝雄	玉造由美	勝村孝行	谷田川泰	小松豊正	山本進	村上泰道	池田正文	菱沼和幸	岡野孝男	高野要	鈴木行雄	
第3回定例会 石岡市国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
茨城租税債権管理機構規約の一部変更に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
複合文化施設を駅東地区へ建設する計画に反対する決議	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

■賛成なしで不採択

令和6年第3回定例会

陳情	石岡市が構成団体となっている一部事務組合の早期の統合を求める陳情
----	----------------------------------

賛成



反対

市政を問う!

一般質問

[9月2日～9月4日]

各議員が、市の行う事業の内容を問いただしたり、政策提案をしたりする一般質問。

議員と市執行部との真剣勝負が繰り広げられます。

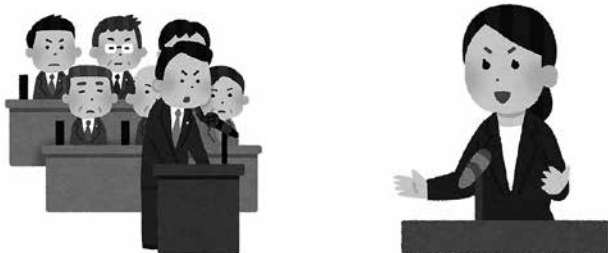
質問者	質問項目	頁
櫻井 茂	イベント広場の利活用	9
	複合施設（図書館・ふるさと歴史館）の整備	
中根 淳一	石岡市DX推進計画の取組状況と成果	9
	地域と共にあるコミュニティスクールと部活動の地域移行	
山本 進	無電柱化整備事業	10
	市民会館跡地の利活用策	
小松 豊正	複合文化施設整備事業	10
	不登校問題と対策	
	石岡市の水道事業の今後	
岡野 孝男	国指定史跡「瓦塚窯跡」の有効活用	11
	運転免許返納支援	
	土砂等による土地の埋立て等	
鈴木 康仁	病院群輪番制	11
	上林・上曽線整備状況	
谷田川 泰	駅前・東ノ辻線の早期完成及び小美玉市への延伸	12
	企業誘致の取組進捗状況	
	都市計画の見直しによる定住人口対策	
新田 茜	石岡市におけるAED普及の取組	12
	石岡市におけるスポーツ・健康まちづくりの取組	
	石岡市における学校給食の現状	

質問者	質問項目	頁
川井 幸一	介護サービスにおける人材の確保、市独自の支援策	13
	上林・上曽線の早期完成	
村上 泰道	有機農業の拡充（オーガニックビレッジ宣言）	13
	小中学校における夏期休暇中の学習課題	
	石岡市観光協会の運営	
高野 要	複合文化施設	14
	市役所職員及び消防職員の不祥事	
富田 雅史	クラウドファンディングの有効活用	14
	市宮霊園の今後の整備の方向性	
鈴木 将史	特色ある農業振興に向けたオーガニックビレッジへの取組	15
	石岡駅周辺施設	
	ユニボイスの活用	
玉造 由美	不法投棄（小見地区）	15
	防災・減災対策	
飯村 一夫	避難所	16
	小中学校統合再編計画	
	上林・上曽線整備事業（2期整備区間・1.7km）	

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。

紙面の都合上、 で色付けした項目のみ掲載しています。

※スマホなどで、各議員のページに掲載している二次元コードから、すべての質問の録画映像をご覧ください。





さくらい 櫻井 しげる 茂

複合施設整備 中心市街地活性化のチャンスとして生かすべき



動画

問 イベント広場に整備予定の複合施設は、図書館・ふるさと歴史館・おまつり展示スペースで構成され、これらは市民が長い間待ち望んでいた施設ですが、歴史の里いしおか及び関東三大祭りの誇りをどのような形で施設整備に反映させていくのか、特におまつり展示スペースについて伺います。

石岡の民俗文化を展示するだけでは人はそれほど来ないと思います。山車や獅子の展示ができるようなもので、規模の大きなもので、中心市街地を元気にできるような考えを持っていただきたい。中心市街地の活性化を20年30年近くやっている中でうまくいかず、今回そのチャンスが

巡ってきたのに生かそうとしないのは不思議です。複合施設の整備に当たり、中心市街地の活性化、商店街の人の流れをつくるチャンスと捉え、集客施設としての構想や実現性を入れ込む考えはないのか伺います。

答 現在、図書館ふるさと歴史館の機能の検討は教育委員会事務局が中心となり行っており、おまつりに関する展示スペースはふるさと歴史館の一部機能とし、市内に数多く残る祭礼行事、民俗芸能について当市の特徴的な文化財として充実した展示を行うことを検討しています。

歴史や文化を感じることで生かすことができる当市ならではの施設を整備することにより、文化の振興を図るとともに観光振興やにぎわいの創出による中心市街地の活性化へとつなげていきたいと考えます。大きな可能性を秘めたプロジェクトであり、多くの意見を聞いて石岡の文化や歴史を伝える魅力あるスペースにし、観光振興や地域の活性化につなげるような集客施設としてのプランを実現するため、全庁的に協議・検討を進めます。



▲9月に開催された「石岡のおまつり」。今年は53万人を超える人出となった。



なかね 中根 じゅんいち 淳一

DX化・オンライン申請導入の推進による働き方改革を



動画

問 市職員の離職が増えていることは、市にとって大きな課題であると思えます。石岡市DX推進計画に基づく人材マネジメントの分野でのDX推進は、職員の働き方改革につながり、離職防止の解決手段になるのではないかと考えますが、見解を伺います。

慮できるのは、DX化、オンライン申請であると思えます。子育て世代の負担軽減のため、特に電子申請できる手続を増やしていただきたいと思います。ですが、見解を伺います。

答 市職員の離職、特に中堅職員の離職が続いており、健全な組織運営を図っていく上で危機的な状況だと認識しています。DX推進については、石岡市DX推進計画に基づき、職員のICTに係る人材育成を進めており、それにより業務の効率化や生産性の向上に取り組んでいきます。

加えて、学校教職員においても夏季休業中にテレワークを取り入れることで、教職員、子どもたちへの教育活動にとつて大変有効であると考えますが、見解を伺います。

次に、社会課題の一つでもある、子育て世代の独り親世帯のサポートですが、窓口には直接申請しにくいデリケートな場面もあり、プライバシーに配慮

どもたちへの教育活動の充実につながるものが期待されることから、夏休みなどの期間を利用したテレワーク制度について、調査研究を進めたいと考えます。

独り親世帯の経済的支援として、現在、電子申請が可能であるのは児童扶養手当の現況届だけです。今後DXの推進を検討し、関係部局と協議しながら、電子申請の拡充を検討していきます。



◀石岡市の電子申請についてはこちら



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



すすむ進 やまもと 山本

歴史公園整備事業 国の支援がなくても実現 すべき



動画

問 令和5年第3回
定例会では、石
岡市文化財保存活用
地域計画で、より重
点的に文化財の保存
活用を進めるため
の文化財保存活用
区域を設定してい
る中、常陸国府・
府中宿保存活用区
域に市民会館跡地
も含まれ、今後、
課題に関する方
針を定め、適切に
対応して保存活用
に取り組むという
趣旨の答弁があり
ました。これを踏
まえ、石岡市の単
独事業としても歴
史公園整備に取り
組んでいただけ
るか、市長ご自
身の答弁をいただ
きたい。たとえ国
の支援が受けられ
なくても、歴史ま
ちづくりを着実に
進めたい。歴史公
園の整備事業を
実現してほしいと
強く要望します。

現在のふるさと歴史館は、石岡小学校の創立100周年の記念事業の一つとして建設されたものです。これら市民会館跡地の歴史性、立地の優位性を踏まえた上で、市長にふるさと歴史館の再配置、機能移転についての考えを伺います。

答 市民会館跡地の
利活用について
は、所管の生活環境部
と教育委員会事務局
で協議をしていると
ころです。周辺の常
陸国府跡や府中城
跡などの歴史遺産
や、石岡小学校の
今後の方向性など
も含め、協議をし
ていきたいと思
います。議員から
のお話があった市
民会館跡地は、当
市の悠久の歴史を
感じることがで
きる場所の一つ

あることと思っています。一方で、ふるさと歴史館については、学校教育に利用する施設であるほか、交通アクセスや駐車場、来館者に分かりやすい立地、また、建設に当たってのコストや財源、周辺地域の活性化やにぎわいづくりへの影響など、広く検討していく必要があると考えます。その中で、図書館と歴史館の複合化及び民間活力を含めたイベント広場の利活用について考え、まずはサウンディング調査を実施するよう指示したところです。



▲活用が協議されている市民会館跡地



とよまさ 小松

複合文化施設建設 なぜ市長は鹿島鉄道跡 地にこだわるのか



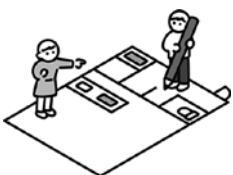
動画

問 複合文化施設の
概算建設工事を
61億円としていま
す。建設場所も施設
機能も決まってい
ないのに、どうし
て概算事業費が出
せるのか伺いま
す。審議会は市長
の意向に即し大学
教授や様々な市民
の方も入っています
が、議会では決
めていない。市民
からも場所を鹿島
鉄道跡地にすると
いう意見もたくさん
出ています。また、
材料費や人件費も上
がっており、61億
円で済むわけはな
く、この数字を今
出すことについて
疑念が出されています。
軟弱地盤で液化も
起こったことから、
鹿島鉄道跡地は問
題があるかと指摘
されています。市
長は鹿島鉄道跡地

と言いますが、イベント広場に造ってもらい、石岡駅に来た方がイベント広場に歩くと人の流れができます。にぎわいをつくるという点で、考え方が間違っています。なぜイベント広場という判断をしないのか、非常に疑問です。

答 建設場所は今年
2月に複合文化
施設整備審議会によ
り出された中間答
申を受け、駅東
地区の鹿島鉄道
跡地もしくは市
営駅東駐車場の
いずれかに整備
する方針となり、
現在は鹿島鉄道
跡地に施設本体
を整備し、市
営駅東駐車場は
駐車台数を確保
するため再整備
することを前提
に検討を進めて
います。お示し
した概算建設工

事費は議会で議論いただく材料として算定した建物本体の建設工事の概算事業費であり、駐車場や外構工事、設計監理といった事業費については現在精査中です。
新たな施設を鹿島鉄道跡地に整備することで駅を中心とした東西の回遊性の向上やにぎわいの創出を見込み、石岡市の発展に大きな影響を与えるものと考えます。多くの市民に喜ばれる施設整備となるよう、覚悟を持って着実に事業推進に取り組んでいきます。



市営駅東駐車場の整備を確保することを前提に検討を進めています。お示しした概算建設工



おかの たかお
岡野 孝男

小見地内の不法盛土と産業廃棄物 撤去の状況と 今後は



問 私は、小見地内に不法盛土が搬入された令和2年以降

今日まで、小見地内の不法盛土、産業廃棄物を一般質問で取り上げてきました。

答

令和2年4月下旬頃から土砂が搬入されたため、盛土行為者に土壌検査を実施させ、のり面等の是正指導をしてきました。その後、同年11月中旬頃から、複数の行為者によりフレコンバッグ搬入が行われてきました。石岡市では盛土行為者に、同年12月から改善措置命令を三度発出するなど、指導してきたところで

別の行為者にも令和5年3月に撤去措置命令が発出され、撤去されなかったため、2回目の代執行に至ったとの経過です。

現状は、県が代執行を開始し廃棄物撤去を進めており、県から、廃棄物の一部処分及び費用削減依頼がありました。当市としても、霞台厚生施設組合へ費用削減に向けた依頼をし、協議しています。フレコンバッグ下の残土搬入行為者には、令和6年8月に連絡し、フレコンバッグ撤去後、早急に残土を撤去するよう指導を行ったところで

県では、フレコンバッグ堆積の行為者に立入調査を実施し、指導してきました。令和4年8月以降、県から行為者に撤去措置命令が二度発出され、撤去が一部にとどまったため、令和5年3月、県で1回目の代執行が実施されました。また、

小見地内のこれまでの経過、現状と問題点について、改めて伺います。

茨城県で行った行政代執行の詳細はこちら



すずき やすひと
鈴木 康仁

病院群輪番制 現状にあわせた体制の実現へ



問

病院の輪番制は、1分1秒を争う救急搬送に対し、市民の命を守る上で大変重要な制度と認識しています。まずは輪番制の状況について、

が減ると思います。これについて市長はどのように考えていますか。

答

運営状況については、本年度初めに各病院にお伺いし、病院輪番制の構成病院の実情について調査をしました。その中で、受入れ人数に差が生じている原因として、一つの病院で医師不足が根底にあることを把握しました。前回定例会以降については、ヒアリングとともに、石岡医師会、輪番制にご協力いただいている3病院と輪番制の在り方について協議し、小美玉市、かすみがうら市とも情報共有を行ってきたところで

めた結果、受入れ人数の少ない、特に苦慮されている病院が対応できない日数を、代わりに対応いただける病院に受けていただくことで、合意に至っていません。

今回の病院群輪番制の契約変更によって、今後は受入れ件数の増加及び受入れ拒否件数の減少が図られ、市民への安心安全な医療体制が提供できるものと考えます。

次に、本年度の輪番制の契約の変更時期について、9月から現状に合わせての体制に変えていくということですが、今回の新体制の運営によって、救急の受入れが増えて拒否

ご意見を基に協議を進



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



谷田川 やすし

都市計画を見直し、将来を見据えた秩序あるまちづくりを



動画

問 立地適正化計画による実績を検証した中で、改善の方向性を打ち出していますが、現状は全く違うのではないかと感じています。都市機能誘導区域に福祉施設を誘導でき、居住誘導区域における社会増減数が改善したとありますが、中心部は企業が去り、より空洞化が進行しているように思います。現実をもっと直視して、駅に近い区域や、利便性がある、発展の可能性のある地域の都市計画を見直し、定住人口の増加を図っていくべきであると考えますが、執行部の考えを伺います。

しろ見直しをしないことで、小さな開発による虫食いのような住宅が点在していく可能性が大きいと思います。きちんと都市計画を見直し、将来を見据えた秩序ある、統制の取れたまちづくりを行っていくべきです。

答 石岡都市計画区域については、市街化区域と市街化調整区域の区分、いわゆる線引きを行い、計画的な都市基盤整備及び土地利用を進めてきました。令和2年度の都市計画基礎調査の結果では、石岡都市計画区域における市街化区域内の宅地化率は約60%と、まだ活用されていない土地があるものと考えます。現在、市街化調整区域でも、

私、都市計画の見直しによって無秩序な乱開発を求めているわけはありません。む

市街化区域の隣接区域を中心に12地区で区域指定制度を設け、住宅などの建築許可の要件を緩和し、市街化区域の土地利用を補完している状況です。また、ソフト面での定住支援として、令和6年4月より、Uターン転入者を対象に住まいづくり推進事業補助金の拡充を図っています。引き続き区域指定制度を活用しながら、現在の市街化区域を維持しつつ、市街化区域を中心としたインフラ整備と有効な土地利用を進めたいと考えます。

区域指定制度
市街化調整区域であっても、指定された区域内の土地であれば集落出身要件等を問うことなく、住宅などの建築が許可の対象となる。



あかね 楠

子どもの健康を守る大切な学校給食 あと一品のおかずを



動画

問 児童生徒の成長において非常に重要である学校給食について、廃棄の量を減らすための対策、物価高騰に対する対策について伺います。

また、給食の量が少ないといった声もあると聞いています。今後の考え方として、課題を含め、給食の量という部分についても検討すべきと考えますが、見解を伺います。

答 栄養教諭の学校食育指導を強化し、残渣の処理については、飼料として活用できる分は、畜産農家に引き取っていただいています。物価高騰により、献立を作成する上で、量と質のバランスを取るのに一番苦慮しているところですが、物価変動に合わせた食材の確保に取り組んでいます。

一品欲しいという部分について検討いただきたいと思っています。今後の学校給食について、現状を踏まえた上でのような考えか、市長の見解を伺います。

一食当たりの費用の中で、栄養価の基準を満たし、量的にどのような対応ができるか検

討していきます。物価高騰の影響、予算も含めて見直していく必要があると思うので、詳細をしっかりと把握し、検討します。給食は、児童生徒の心身の発達にとっても、栄養のバランスの取れた食事の在り方を学んだり、みんなで食事をすることで社会性を養うなど、教育の環境として非常に重要であると考えます。今後も、石岡市の未来を担う子どもたちの教育環境を最優先に考えていきたいと思っております。



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。



かわい こういち
川井 幸一

介護人材確保支援策の実施 高齢者と安心して暮らせるまちへ



動画

問 石岡市民が安心して老後を暮らせる介護サービスの充実のため、当市独自の支援策を実施し、高齢者に優しいまちづくりをする、それは子どもや若者にとっても優しいまち、住みやすいまちとなるわけです。当市独自の人材確保や機材整備の支援と積極的な介護政策への取組、考え方について伺います。

のまちづくりの手段として、職員の確保と支援策について、独自の施策を実施していく必要があると思います。市長は2期目の施政方針でも、介護の人材確保が課題となることを述べていますが、市長の考えを伺います。

超高齢社会に向け、介護の需要は増大することが予想されます。しかし、介護サービスを提供してくれる介護職の方々がいなければ、施設やサービスメニューが幾らあっても、機能しないことになりません。これは社会福祉法人や事業所の努力だけではなく、当市

答 議員ご提案の新たな取組については、当市介護事業所における課題等を把握するための介護職員の雇用実態調査をぜひ行いたいと考えます。また、引き続き介護事業所との連携を行う中で、意見交換や、他市町村の施策等を参考に、当市の取組の可能性について調査研究を進めていきたいと考えます。

現在、当市において

は、介護サービスを必要とする高齢者が増加している一方で、生産年齢人口の減少等により、介護事業所における人材確保が容易ではない状況について、私も把握しているところですが、地域で人的サービスを確保していくこと、人的サービスを地産地消していくことは非常に大切で、高齢者が安心して必要とする介護サービスを受けられる対策を講じていくことが重要と認識しています。当市の実情に合った施策が講じられるよう調査研究を進めていきます。



むらかみ やすみ
村上 泰道

有機農業拡充（オーガニックビレッジ宣言）に伴う市の支援策は



動画

問 オーガニックビレッジ宣言によって、消費の拡大につながったとしても、生産面積が急激に拡大するものではないので、軌道に乗るまでしっかりと行政として支えなければいけないと考えます。プラスアルファの手間暇をかけている方々、新規就農の方にはこういうメリットがありますよという費用的な負担をしてもいいのではないかと考えますが、見解を伺います。

歩を進められるような石岡の農業指針がないものか。一般農業従事者をフォローする体制づくりに入っていただきたいと思いが、見解を伺います。

答 現在茨城県では、有機農産物の生産拡大を目的とした各種補助事業を実施しています。このほか国の事業として、環境保全型農業直接支払交付金がありますが、宣言を契機とした機運醸成や有機農業の取組拡大に資する、市の独自性を生かした取組は重要と考えます。市の現状を的確に把握し、市としての支援の在り方を検討、具体化していきたいと考えます。

有機の方々、プラスアルファの手間をかけてそれを維持してくださっているわけですが、農業全体を支えてくださっている農業従事者全体の整備について、一般農業従事者の方々の連携、一緒の

8月下旬に行った、市内各地を対象とした



▲農林水産省パンフレット

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



たかの かなめ 高野 要

石岡市職員分限懲戒等審査委員会 処分の基準を問う



動画

問 市役所職員及び消防職員の不祥事について伺います。市の職員は参加者から集めた負担金を私的に使ってしまったこと、またそれを隠蔽した上司がいたこと、消防職員は同僚のお金を盗んでしまったということ、市の職員は免職、消防職員は停職。また、それを隠蔽した職員も停職や減給、厳重注意となっていると思えますが、その処分を決定するのは石岡市職員分限懲戒等審査委員会で行われると思います。最終的にその処分を決める基準は何なのか。今回の免職と停職の差は、公金と公金でない部分ということなのか伺います。

世間一般で考えても、行政の職員が悪

いことをやったのなら、きちつと警察へ届けるなどの対応は取るべきではないか。行政が裁くということには、公平性に欠ける面もあるかと思えます。

答 石岡市職員分限懲戒等審査委員

会は、市職員に対する処分等の案を審査するものとなっております。市職員、消防職員ともこの審査会において審査を行ったものです。委員会では、調書に基づく事案の説明を行い、非公表ですが石岡市職員の懲戒処分に関する指針に基づく処分の標準例、また、当市のこれまでの処分事例や県内や全国の類似事例などを基に審査を行い、最終的に全会一致で結論を出したところです。

懲戒処分の種類

免職、停職、減給、戒告

※懲戒処分には当たらない業務上の措置として、「訓告」や「厳重注意」などがある。

今回の事案については議員ご指摘のとおり、金銭としては同様ですが、お子さんが講座を受けるための負担金として直接預けていただいたお金ですので、保護者の皆様、市民の皆様の信頼を根底から裏切る行為として、処分の中で最も重い措置となったのは、致し方のないところだったと考えます。一方の消防の事案については、過去に消防署員が起こした窃盗事件のほか、県内、全国の類似事例も参考にし、今回の結論に至ったところです。



とみた まさし 富田 雅史

墓地の後継者問題の不安解消へのひとつの手として、合葬墓地の検討を



動画

問 全国的に墓地の後継者問題は顕在化しており、近所に自分の子どもや親戚がいないなどの理由により、お墓の維持管理が難しくなっているとのこと、後継者問題などで墓守について心配される方が、今後さらに増えていくのではないかと懸念しています。

答 合葬墓地の必要性について

近年では合葬墓地が注目され始め、自治体でも合葬墓地を整備しているところもあると認識しています。合葬墓地の大きなメリットは、墓地の後継者がいない場合にも無縁墓や無縁仏になる心配もなく、安心して利用できる利点があります。市民の墓地に対する意識の変化や多様な墓地需要に対応するために、

今後、市営の整備の方向性や合葬墓地が必要になってくるものと考えますが、石岡市の考え、また、合葬墓地についての市長の考えを伺います。

合葬墓地の必要性については、市営霊園の現状や昨今の墓地に対する考え方の変化などを考えると、そのニーズが高まっています。今後は、墓地の計画的な改修・整備について、市の方向性を定めていかなければならないと考えます。合葬墓地については、当市の将来の人口の動向や利用者のニーズ、そういったものを捉えながら調査研究を進めるとともに、まずは、早急に市営墓地の

運営・整備について長期的な構想の中で位置づけていきたいと考えているところです。時代の変化に応じ、墓地に対する市民の考え方も変化するものと考えます。市営霊園については、長期的かつ安定的な公営墓地としての責務を果たしていくとともに、将来的な市営霊園の在り方を考えていく、その中の一つとして、合葬墓地についても検討していくよう指示したいと思えます。



※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧いただけます。



鈴木 将史

有機農業に関する市内外へのPR、生産者の意見を聞く場の実現を



動画

問 オーガニックビレッジ宣言の取組について、県外にPRすることも大事ですが、市民の方に石岡市の有機農業がすばらしいということを誇りに思ってもらうこと、市全体で盛り上がりつついくことも大事だと考えます。ぜひ市内イベントへの積極的な参加も検討いただきたいと思

答 宣言に向けた取組に当たっては、対外的なPRのみならず、市内の機運醸成が必要不可欠だと考えます。様々な機会を通じ、市民にも有機農業に関心を持っていただけるよう取り組んでいきたいと考えます。また、生産者にも積極的にイベントに参加いただき、直接消費者から声を聞くと、その場での生産者の声も聞き、計画にまとめていきたいと思

います。また取組が始まったばかりですが、今後も関連部局と生産者、検討会のメンバー、しっかりと協力して、協議して取り組んでもらいたいと思

ます。私としては、オーガニックビレッジ宣言は

一つの通過点だと思っています。持続可能な農業、もうかる農業、地域の魅力向上、そういった様々なまちの魅力、あるいは様々な課題解決にもつなげていきたいと思



▲朝日里山ファームでは有機農業の新規就農者研修を行っている。



たまづくり よしみ 玉造 由美

誰もが利用できるユニボイス 様々な活用を



動画

問 ユニボイスについての概要、導入状況について県内の状況、石岡市の現状を伺います。

答 ユニボイスとは、視覚障がい者の情報取得をサポートする音声コードです。二次元バーコードにテキストデータを格納したもので、紙媒体などに掲載された印刷

様々な活用が期待できるユニボイスですが、災害に備えてのハザードマップなど音声で読み上げてもらえると、防災の面からも非常に役に立つと思

は、視覚障がい者の情報取得をサポートする音声コードです。二次元バーコードにテキストデータを格納したもので、紙媒体などに掲載された印刷

様々な場面において市民の皆様にも活用できるユニボイスですので、ハザードマップへの活用のみならず、自動車税額の通知はがきなどにも活用できると思

は、視覚障がい者の情報取得をサポートする音声コードです。二次元バーコードにテキストデータを格納したもので、紙媒体などに掲載された印刷

非常時に関係する防犯・防災体制や日頃から安心して生活できる環境の構築の観点から、情報の発信の仕方、情報取得を円滑化、強化していくことが求められていることを踏まえ、ユニボイスを含む新たな技術の活用を図り、情報取得の強化を図ります。



▶石岡市障がい者基本計画にユニボイスを活用。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。



いしむら 飯村 かずお 一夫

上林・上曾線 当初計画 路線の整備予定は



動画

問 上林・上曾線の当初計画について、下宿交差点に向かう暫定路線の整備が完了してからという話ですが、これについては冠水するということで問題があるわけですか。

当初計画路線が事業化されなかった理由について伺います。また2工区について、橋梁を架けて前島交差点に行くわけですが、複雑な交差点改良や、恋瀬川を横断する橋梁工事等に時間を要するとのことですが、その中で県土木と協議したのか伺います。

今後、当初計画1・7キロに係る事業計画について、条件がどのようなであれば事業化されていくのか。また、事業の予算ですが、令和4年12月9日現在の合

併特別償活用事業一覧において、上林・上曾線整備事業の事業費が27億2725万4000円ですが、この内訳を伺います。

答 上林・上曾線の当初計画路線が事業化されなかった理由は、前島交差点において複雑な交差点改良などから、浦須橋付近から下宿交差点に向かう現道拡幅による暫定路線の整備を優先しているためです。当初計画路線に対する県の支援については、事業化された際に県と協議をしていきたいと考えています。

現在整備を行っている暫定路線は、国の防災安全交付金などを活用しており、国の交付金については交付対象



事業の55%が補助され、非常に有効な財源となっています。当初計画路線の事業化への条件については、国の交付金や合併特別に代わる地方債などの活用できる財源が未定であることから、財源の確保が条件になるものと考えます。また、事業費の内訳は、フルーツラインから下宿交差点区間で、国県支出金が14億4139万5000円、合併特別債が12億2020万円、一般財源が6569万9000円となっています。

※各記事に掲載されている二次元コードから、質問者ごとの録画映像をご覧ください。

傍聴のご案内

～議会を傍聴してみませんか～



傍聴について

石岡市議会では、本会議と各常任委員会などを公開しており、どなたでも傍聴していただけます。石岡市役所本庁舎3階の石岡市議会へぜひお越しください。会議の開催情報は随時ホームページに掲載いたします。ご不明な点は議会事務局までお問い合わせください。

傍聴についての詳細は二次元コードから

本会議

本会議では、議員による一般質問・議案質疑、議案などの議決が行われます。

受付：8時30分から先着順にてご案内いたします。

受付で名前・住所を記入ください。

定員：50名（一般席45名、報道関係者席5名）

委員会

委員会では、議案内容の詳しい審査や請願・陳情に関する審査などが行われます。

受付：会議開始時刻の30分前から受付します。受付で名前・住所を記入ください。ただし、10分前において定員を超えた場合はくじ引きとなります。

定員：10名

※一部の特別委員会など、傍聴できない委員会があります。



【傍聴席から見た議場】

常任委員会の活動

石岡市議会には3つの常任委員会が置かれており、各委員会は、担当する部門に関する市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。委員会は議会の閉会中も開催しており、積極的な議論が交わされています。

ここでは、最近の委員会において議論された主な内容をご紹介します。

総務企画委員会

9月9日に開催した当委員会では、6月に実施された、恋瀬川流域の洪水浸水想定区域内に位置する柿岡地区・高浜地区での浸水害を想定した地域防災訓練の報告がなされました。

また、地区住民の方々と実施する地域防災訓練において、前は東成井小学校区と杉並小学校区の2地区、今回は東小学校で実施し、計3回の説明会を経ながら、協議して決めた避難行動訓練及び防災体験等の訓練内容を行っていく説明がありました。説明を受けた委員からは、自らの地域は自分たちで守

地域防災訓練の実施

る共助も重要だが、隣の家の状況を知るという意味で近助も重要ではとの意見が出されました。また、3年に一度実施される総合防災訓練について、令和7年度に実施予定との説明があり、委員からは南海トラフ等いつ起こるか分からない状況で、常に日曜日に訓練が行われている防災訓練の在り方を総合的に見直すときではとの意見が出されました。



文教厚生委員会

老朽化により使用できなくなっている八郷総合運動公園のプール。今後どうするのか、検討が進められています。

9月6日開催の委員会では、執行部から、同じく老朽化している学校プールの状況も踏まえ、八郷地区を主とした学校プールを集約し、学校の授業及び一般の利用に供することで、市民の健康づくりの場となる通年利用可能な屋内温水プールを八郷総合運動公園に建設していく方針が示され、早ければ令和9年度中の完成を目指していきたいとの説明があり

八郷総合運動公園プール整備

ました。これに対し、委員からは「従前より議員から、今までのレジャー的プールの在り方について質問があったかと思うが、内部で協議はしてきたのか」との質問があり、執行部からは「幼児用プールの部分でレジャー要素を持ったプールを検討できないか、内部で調整している」との答弁がありました。



▲八郷総合運動公園

産業建設委員会

9月10日に開催した当委員会では、一般会計等の補正予算や市民会館解体工事に係る契約変更の議案など、付託された議案10件の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。

当日は、市道の認定に関する議案が提出されたことに伴い、委員会開会後に現状を確認するため現地調査を行い、その後議案の審査を行いました。また、その後の所管事務の調査では、石岡スケートボードパークネーミングライツ事業において、募集期間や契約希望価格を年額100万円とするなどの説明があ

ネーミングライツ事業

りました。説明を受けた委員からは、希望価格が下がったので応募はあるかと思うが、スポンサーメリットを増やしてもいいのではないかと意見が出されました。また、上林・上曽線の整備について、今後のスケジュールなどについて説明があり、委員からは交通量の増加に伴う柿岡町内の交通の危険性や道路の冠水について意見が出されました。



請願・陳情 ～あなたの声をお寄せください～



請願・陳情

請願とは、憲法に定められている国民の権利の1つで、国または地方公共団体の機関に対して意見や希望を述べることをいいます。

請願の提出には議員の紹介が必要となりますが、石岡市議会では、議員の紹介がない「陳情」も含めて受付を行い、議会で審査しています。

これまでに寄せられた請願・陳情の内容や審査結果、詳しい提出方法は二次元コードから

提出時期

請願・陳情は、議会事務局で受付をしています。
ただし、受理後の直近の定例会で審査できるのは、原則として定例会開会日の約2週間前に開かれる議会運営委員会の2日前（土日祝日含まず）の午後3時まで提出された分です。これ以降に提出された請願・陳情は、結論が出るのは次の定例会以降となります。

書式

請願・陳情には、特に書式等の決まりはありません。
ただし、提出される方が個人の場合は「署名と住所」又は「記名・押印と住所」を、法人の場合は代表者の「署名」又は「記名・押印」と法人名称・所在地を記載の上、請願・陳情の要旨を簡潔に記載してください。
請願の場合は、さらに、紹介する石岡市議会議員の「署名」又は「記名・押印」が必要です。 ※右の記載例参照

【記載例】

件名
例：〇〇に関する請願書（陳情書）
趣旨（本文）

令和 年 月 日
石岡市議会議長 殿

提出者 住所
氏名（署名又は記名・押印）
紹介議員（※請願の場合のみ）
氏名（署名又は記名・押印）



いしおか市議会だより、 デジタルブック配信中！



▲カタログポケット



▲ ibaraki ebooks

「いしおか市議会だより」は、紙媒体での配布やホームページへの掲載とあわせ、10言語翻訳や音声読み上げ機能を持つ「カタログポケット（カタポケ）」と、県内自治体の広報紙などが集約された「ibaraki ebooks（イバラキイーブックス）」でデジタルブック配信しています。スマートフォンやタブレットなどで、ぜひアクセスしてみてください！

※デジタルブック配信は、発行日からおおむね1週間以内に行っています。
※アプリ本体の利用は無料。ダウンロードや閲覧に必要な通信費は利用者負担となります。

編集後記

市民の皆様には、日頃より石岡市議会に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますこと、感謝申し上げます。

さて、今回のいしおか市議会だより第93号は、第3回定例会の内容を中心に掲載しています。今期定例会では、市民の皆様から信頼される品格ある議会の実現を目指し、「石岡市議会ハラスメント防止条例」制定についての議案が可決されました。また、「複合文化施設を駅東地区へ建設する計画に反対する決議」も可決され、駅東地区へ建設する方針を示している執行部と、議会の意思との相違が明らかとなる、重要な局面を迎えました。

今後も、市民の皆様のご代表として高い倫理観を持ち、石岡市がより良いまちとなるよう、様々な課題について議論を重ねていきたいと考えます。議会に対するご意見や広報紙へのご感想などございましたら、お気軽にお寄せください。（川井）

●議会広報委員会

委員長 川井 幸一 副委員長 新田 茜
委員 小松 豊正 委員 谷田川 泰
委員 飯村 一夫 委員 中根 淳一

第4回定例会の予定

12月

月 日	内 容	場 所	中継
12月 3日(火)	開会日（議案の提案理由説明など）	本会議場	○
12月 9日(月)	一般質問	本会議場	○
12月10日(火)	一般質問	本会議場	○
12月11日(水)	一般質問	本会議場	○
12月12日(木)	議案質疑	本会議場	○
12月13日(金)	文教厚生委員会	委員会室	
12月16日(月)	総務企画委員会	委員会室	
12月17日(火)	産業建設委員会	委員会室	
12月18日(水)	複合文化施設建設特別委員会	全 員 協議会室	
12月19日(木)	議会運営委員会	全 員 協議会室	
12月20日(金)	閉会日（議案の採決など）	本会議場	○

